

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・小学校との緊密な連携のもと、学校教育目標、経営理念、中期経営目標を統一し、共通の学校教育目標「自ら学び、心豊かな生徒の育成」に向けた、重点項目が見直され、適切な経営目標が設定されています。「アンケート」や「学校楽しい～」等から生徒の現状と課題を的確に分析された昨年度の評価及び改善策をもとに「目標達成のための方策」から導かれた生徒の学びの主体性を引き出すための「指標」が具体的に示されています。業務改善についても、教職員の意欲と能力発揮を図るための新たな指標が加えられ、組織的な改善意識が伝わってきます。 ・「自己実現」「豊かな心」「業務改善」を重点目標として、中期(3年間)経営目標(本年1年目)、短期(今年度)経営目標を達成するため、木目細かく指標が設定されている。 ・生涯を見据えての生き抜く力と社会貢献力の育成目標を高く評価しています。 ・生徒の発達段階を踏まえ、「生徒が自主的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる」「自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育てる」を目標に掲げています。学力や生活面の具体的な指標(ICT教育の推進、ボランティアの参加率)も明確に設定されており、全体として現状や課題をしっかりと捉えた適切な目標・指標です。
目標達成のための方策の適切さ	A	・呉市教育振興基本計画の指標で示されている全国学力・学習状況調査の目標値を目指し、全国平均値達成に向けて、学びの基盤である週末課題、読書活動、キュビナの活用等が継続して方策に盛り込まれています。生徒の規範意識の向上と豊かな心の育成のため、仁方中学校伝統のN中メソッドを柱に据えた方策となっています。仁方小・中学校が共通して「生活をよりよくするため」の視点で授業が展開され、生活場面と結び付いた考える授業づくりが進められることにより、生徒の思考力・判断力・表現力が高まることを期待しています。 ・目標達成のための適切な方策を設定し創意工夫が見られる。 ・学力向上に向けた具体的な取組や生活習慣・体験活動の充実を重視するなど、目標達成に向けた具体的かつ実現可能な方策が考えられています。 ・自分が何者であるか、何がしたいのか、何ができるようになりたいのか、そのためには何が必要で誰に頼りたいのか、生徒ひとりひとりが主体的に取り組める課題設定と自己表現活動の展開であると期待しています。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・生徒や教職員アンケートを柱として、目標値を達成できた項目、達成できなかった項目ともに、達成状況とその背景等を踏まえて、数値を示しながら結果の分析を細かく、丁寧に整理され、今後の改善策が導き出されています。また、結果分析が昨年度の「～考えられる。」の表現を削ることで、より明確な分析表現になったと思います。 ・自己評価は、目標値に対してどれだけ達成しているかを、数値とA～Dの評価で示しており、基本的かつ分かりやすい分析をされています。なぜそういった評価となったか、しっかり説明いただいたので、成果と課題を徹底的に理解し、今後につながる姿勢だと評価できます。 ・夫々の目標に向かっての方策・工夫により結果が出ている。分析も適切である。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・結果と分析を踏まえて課題解決に向けて、それぞれの項目について、二学期から学年末、さらには来年度に繋がる工夫された新たな改善策が「保護者へ課題確認表の配付」、「オススメ本の紹介」等具体的に示されています。今後とも、引き続き様々な角度から改善策を見直し、工夫しながら目標達成に向けて取組を進められることを期待します。 ・成果と課題の明確化により、現実的かつ前向きな案が提出されています。教職員の皆様で積極的な意見交換をされている結果であると同時に、アンケートなどでこどもの声や保護者の声を柔軟に取り入れる姿勢も評価できます。 ・今後の改善策(案)は焦点を絞り、夫々適切な(案)が示されている。 ・授業や部活動における体力づくりの評価に対して具体的な改善策(案)が必要と思います。業務改善の時間外評価Dに対してより一層の働き方改善、改革の推進が必要と思います。 ・組織的な業務改善の推進には、単一の対策だけでなく呉市の取組も必要かと考えます。PTAでも教員配置に関して独自の加配措置の充実を要望いたしました。
その他		・日常の業務に加え、教育研究会に向けて業務多忙の中、学校運営協議会資料の作成、大変お世話になりました。授業参観や日頃の様子から、教師と生徒の信頼関係が構築されていると感じており、この関係が継続していくことを切望します。 ・在校3年間で時をあるごとに仁方中学校の座右の銘である「守破離」の意味について生徒に伝えてもらいたい。 ・ICT支援員の配置により、より高度で充実した授業展開や細かな指導が増えてくることを要望したい。 ・生徒の朝のあいさつはとても良いです。地域で考えて、教えられることを考えます。

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・生活をよりよくするための視点で授業改善を図り、生活場面と結び付けた考える授業づくりを進めることにより、生徒の思考力・判断力・表現力を育てる。 ・生徒が主体的に取り組める課題設定と自己表現活動の充実を図る。 ・安心・安全な学校の風土づくりを継続していく。 ・より一層の働き方改革の推進に努める。
--------------------	--